

# 名大の時間

## 名寄市立大学への通学

に行われた入学式は、新入生のみの参加となり保護者は参加できませんでしたが、コロナ禍である現在、学校側がさまざまな工夫をし、入学式を挙行してくださったことにとても感謝しています。

私は、この春から名寄市立大学に通っています。4月5日

まだ1ヶ月ほどしか経っていませんが、すでにこの大学の魅力、この地域・自然の魅力が大いに感じながら、日々の大学生活を楽しんでいます。

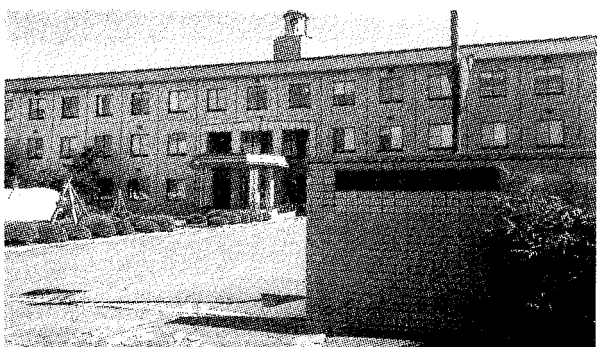
私がこの大学に入りたいと思った理由の一つに名寄の大自然のなかで地域に密着しながら、学びを深められることができました。入学して

日往復3時間。1コマ1時間半の講義を1つ受けるだけの日も3時間かけて通学。帰りが遅くなることもあります。

入学してから直ぐには友人をつくることもできず、一人での通学に寂しさや孤独を感じていました。これが毎日続くと考えると耐えられないかもしれないとさえ思っていました。しかし今では、同じ旭川から通う仲間

と一緒にJRで通学している仲間をつくることができ、辛かった通学時間が早くも大切な時間に変わり始めています。その仲間たちとは、まだ出会って少ししか経っていませんが、お互いに支え合えるような関係がつかれていると感じています。また車内で課題や予習復習をすることで、時間を有意義に使うことができつながっています。

大学生活は4年間と時間が限られており、そのうえ今は、い



つまた外出が制限されるのかわからない状態です。学生から社会人へと心も身体も成長していかなくてはならないこの期

間。本当に4年間で足りるのか。不安でしかなかったが、一日一日を大切に、多くの人がのつながりを豊かにしていきながら、自分の理想や周囲から求められている人材になれるよう、努力して行きたいと思います。

社会保育学科1年

松本綾音